

Why, / then, / do women's clothes have buttons on the left, / **even though**

most women are **also** right-handed?

列挙・追加

Therefore, / <to **make it easier** for the servants>, / buttons **were put** on the left.

結果・結論

不定詞の副詞用法

☑ 内容Check!

問 次の各文が正しければ () に○を, 誤っていれば×を記入しなさい。

- It is easy for right-handed men to use the right hand when buttons are on the right side of their clothes. ()
- Women's clothes have buttons on the left because most women were left-handed in the past. ()
- It was easier for the servants to help button up women's clothes when buttons were on the left. ()

❖ 覚えておきたい表現

■ It is ~ + for (人) + to do 「(人) が…することは～だ」

ℓ.2 : It is easier for them to use the right hand when buttoning up. 「彼らにとって, ボタンをかける時に右手を使う方が簡単なのだ。」

・ It is ~ + for (人) + to do 「(人) が…することは～だ」: It は形式主語で to 以下を受けるので, 「それは」と訳出しないこと。to 不定詞の意味上の主語は for them (= the majority of men) である。

Ex. It was not easy for him to get used to the new school. 「彼にとって新しい学校に慣れるのは簡単ではなかった。」

・ when buttoning up は when (they are) buttoning up の省略された形。when 節中の主語と主節の主語が同じ場合は, when の後ろの主語 + be 動詞は省略できる。

Ex. When (you are) in Rome, do as the Romans do. 「ローマにいるときは, ローマ人がするようにしなさい [郷に入らば郷に従え]。』

■ even though ... 「…にもかかわらず; たとえ…しても」

ℓ.4 : even though most women are also right-handed 「大部分の女性もまた右利きであるにもかかわらず」

・ even though : though の意味を強めたもので「～にもかかわらず」という意味。「…にもかかわらず; たとえ…しても」という意味でも用いられることもあるので注意。

Ex. Even though he didn't like classical music, Jim went to the concert because his girlfriend liked it. 「ジムはクラシック音楽を好きではなかったが, ガールフレンドがそれを好きなのでコンサートに行った。」

Ex. Even though they lost the game, they never gave up their dream. 「その試合には負けてしまったが, 彼らは自分たちの夢を決してあきらめなかった。」

■ make A (名詞) B (形容詞) 「A を B の状態にさせる (する)」

ℓ.9 : to make it easier for the servants 「召使いにとってそれをやりやすくするために [召使いが女性に服を着せることをより簡単にするために]」

・ make it easier for the servants は make A (名詞) B (形容詞) の構文。A の部分にある it は直前の文の who 以下, すなわち dressed them (= the women) を受けていると考える。

Ex. He made the problem more difficult by citing another example. 「彼は別の例を引くことによって, その問題をさらに難しくした。」

整理しよう! *段落要旨・構造*

- (導入) 男性の洋服のボタンは右側についている → 大多数の男性が右利きなので便利。
↓ 対比
- (疑問) なぜ女性の洋服のボタンは左側についているのか
◆ ℓ.5 also 「また: 列挙・追加」
大多数の女性もまた右利きだが。
→ 何らかの差別だろうか?
- (理由の開示) ◆ ℓ.6 in fact 「実際には: 主張」
これには理由がある。
- (歴史的背景) 昔, ボタンは高価なものだった。→ 富裕層の女性だけがボタンのついた服を着られた。
富裕層の女性は召使いに服を着せてもらっていた。
- (結論) ◆ ℓ.9 Therefore 「したがって: 結果・結論」
召使いが扱いやすいようにボタンは左側についていたのだ。

背景知識

● 高価な装飾品としてのボタン

ヨーロッパでは, ある時代では富裕層の女性だけがボタンを買うことができたと言われている。ある時代とは, 中世～近代までの長い間, すなわち服を留め合わせるひもにかわって, ボタンが使用されるようになった13世紀以降, 婦人の服装に現在のボタンが用いられるようになった19世紀までである。

ボタンがこのように富裕層だけしか買えないほど高価だった理由は, 中世ヨーロッパではボタンが私たちの知っているいわゆる「ボタン」ではなく, 金・銀・ルビーやエメラルドなどの宝石がボタンとされていたことにある。宝石そのものがボタンの機能を果たしているため, 高価なのは当然だろう。

加えて, ダイヤモンドの研磨技術が向上した17世紀以降は, 王侯貴族の礼服のボタンは数カラットのダイヤモンドを用いていたともされる。例えば, 17世紀のフランスで, 男性の服装として定番であったジストコール(膝までに達する丈の長い上衣で, 腰から下にかけて裾が広がるシルエットのもの)では, 前面に多くのボタンが並ぶ作りになっていた。そのボタンやボタンホールに金やダイヤモンドが用いられ, ポイントとされた。一説によると, ジストコールのボタン用に大量の金やダイヤモンドを買い入れたことで破産する者までいたともされるほど, 当時はボタンは高価な装飾品であった。

【深めたい人に】飯塚信雄『ファッション史探検』(新潮社, 1991年), ミシェル・ポーリュウ著, 中村祐三訳『服飾の歴史—近世・近代篇』(白水社, 1976年), 田中千代『服飾事典 増補版』(同文書院, 1973年)